

近頃クルマが退屈だとおっしゃる貴兄に、新旧アバルトをお勧めします

第493号カーマガジン7月号 第41巻第7号  
令和元年5月25日発売 毎月26日発売

**493**

2019 | 7 | JULY

# car

## MAGAZINE

Magazine For Those Who Love Historic And Sport Car



27th  
*Japdn Mini Day*  
in Tsukuba  
ジャパンミニデイ in 筑波



### Exciting & Mellow days as

# ABARTH DAYS

## 日々是アバルト暮らし

Color Graph: アウディR8

100 Doro: ブジョー・ジャンゴ&205GTI

Japanese Revival: 三菱コルト・ギャランGTO1600 MR

Topic: 日本にも存在した"バーンファインド"

Designer's Real Voice: アストンマーティン・デザインの行方



JAGUAR XJS CONVERTIBLE  
ALPINE GTA OFFLINE MEETING  
HONDA LIFE  
COPPA DI KOUMI  
ITOIGAWA CLASSIC CAR MEETING  
Lamborghini Urus  
Mazda 3  
Suzuki Swift Sport  
Lotus Exige Sport 410  
Fiat 500X  
Peugeot 508



text:Katsumi TAKAHASHI(高橋克美) 写真 & 取材協力:ロング スロウ ディスタンス(phone:03-6447-1311)

## Meccaniche Veloci

【メカニケ・ヴェローチ / スイス】



ナルディ社のステアリングの木製パーツをミドルケースにセット、ダイヤル余白部分にも同じ模様を刻み込んだ。

### ステアリングでお馴染みのナルディ社とコラボした"4バルブ"ウォッチ

腕時計はクルマとの親和性の高いアイテムだが、クルマのパーツをディテールデザインに巧みに取り入れて時計を作るメカニケ・ヴェローチほど、クルマ好きの感性を刺激する時計ブランドはないかもしれない。2006年にデビューコレクションとなった『クアトロヴァルヴォレ』は、イタリア語で"4バルブ"を意味し、4つの穴が空いたシリンダーヘッドをイメージしたケースの中に、ひとつひとつ独立した自動巻きムーブメントを収めた。エンジンの重要パーツであるシリンダーヘッドをイメージしたパーツに、時計のエンジンである



ムーブメントを入れるという秀逸なアイデアが評判となったのだ。しかも同社は単なるデザイン志向の時計ブランドではなく、ブレソ社のブレーキディスクを時計のケースに採用したり、キャブレターメーカーのデロルト社と特殊合金を共同開発したりするなど、クルマへの情熱が本物であることを示してきた。

そんなメカニケ・ヴェローチはさらに、イタリアでステアリング製造を行うナルディ社とのコラボレーションモデルを発表。ナルディ社がご存知、マホガニーウッドのステアリングが1950~1960年代にかけてフェラーリなどのスポーツカーに次々と採用されたイタリア自動車史に名を刻む存在で、同じイタリアにルーツを持つメーカー同士のコラボだ。新作は得意のシリンダーヘッドデザインのクアトロヴァルヴォレのミドルケースに、ナルディ社の美しい木製パーツを採用。ケースサイドにチラリと木製パーツを配することで温かみを感じられる

4つのダイヤルはひとつの機械式ムーブメントで連動し、4つの違った地域のタイムゾーンを一度に確認できる。ダイヤル中央にはメカニケ・ヴェローチとナルディのふたつのロゴがあらわれている。ジュネーブにある『MV HOUSE』と呼ばれるショールームは、メカニケ・ヴェローチのクリエイティブの拠点だ。

#### Meccaniche Veloci Quattrovalvole Nardi Limited Edition

##### メカニケ・ヴェローチ クアトロヴァルヴォレ ナルディエディション

- ムーブメント:自動巻き(Cal.MV8802)/5気圧防水
- ケース:チタニウム×ウッドケース/ケースサイズ49mm
- ダイヤル:4カ国時間帯表示/日付表示
- ベルト:専用ラバーストラップ
- 本体価格:135万円(税別予価・今夏発売予定)

独特なデザインとなった。4つのダイヤル外周のミニットトラックにはそれぞれナルディ社のブランドカラーであるブルーが配され、余白部分にはステアリングホイールの模様を施して特別感を演出する。

クルマのエンジンとステアリングの意匠が一体となったこの独創的デザイン。この時計を着けてナルディ社のステアリングを握りドライブに行けば、さぞかし気持ちの良いことだろう。

